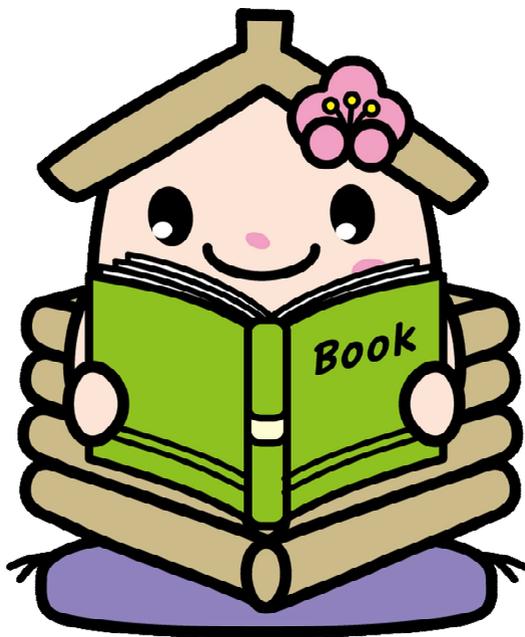


小学校3・4年生におすすめの本

2019

ブックセレクション



酒々井町立図書館

『自分で考えて行動しよう！こども論語とそろばん』

齋藤孝／著 筑摩書房

見335サ

2024年に新一万円札の顔となる^{しぶさわえいいち}渋沢栄一さんを知っていますか？お金に対する正しい心がまえや、やる気を出す方法、信用される人になる方法などが書かれた渋沢栄一さんの名著「論語と算盤^{そろばん}」を、齋藤孝さんがわかりやすく解説します。

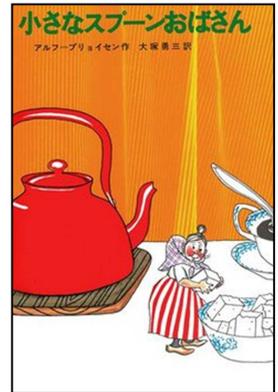


『小さなスプーンおばさん』

見949ブ

アルフ・プリョイセン／著 学研

ある朝目を覚ますと、おばさんはティースプーンくらいに小さくなっていました。掃除も洗濯もお料理も、いつもどおりとはいきません。小さくなったり元に戻ったりしながら奮闘する、スプーンおばさんの笑いと空想に満ちた物語です。



『エルマーのぼうけん』

見933ガ

ルース・スタイルス・ガネット／作 福音館書店

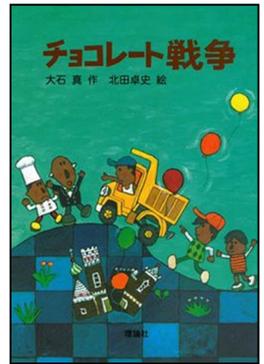
エルマーはある野良猫から「どうぶつ島」で野蛮な動物たちにとらえられている、かわいそうなりゅうの子の話を聞きました。助けに行くことにしたエルマーは、チューインガム、キャンディー、輪ゴム、ゴム長靴、磁石、虫めがねなど、リュックにつめてきた身近なものを使って、うまく危機を切り抜けていきます。



『チョコレート戦争』 児913才

大石真／作 理論社

すずらん通りにある市一番の洋菓子店・金泉堂。この店のショーウィンドーが割れて、居合わせた光一と明が犯人扱いされてしまいます。「やっていない」といくら言っても信じてもらえません。悔しくてたまらない光一はお店のチョコレート城を盗む計画を立てますが、事態は思いもよらない方向へ？！



『大どろぼうホッツェンプロッツ』

プロイスラー／作 偕成社 児943ブ

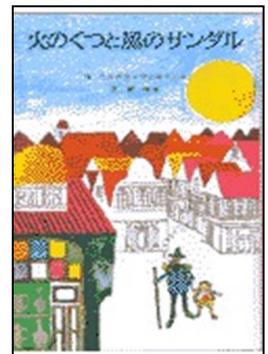
おばあさんの大切なコーヒーひきがぬすまれた！ぬすんだどろぼうを孫のカスパールと親友のゼッペルが追跡します。魔法使いや妖精も登場し、少年たちは知恵をしぼって大活躍。続きに、『大どろぼうホッツェンプロッツふたたびあらわる』『大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる』があります。



『火のくつと風のサンダル』 児943ベ

ウルズラ・ウェルフェル／作 童話館出版

チムはデブでちびでびんぼう。いつもみんなにからかわれ、他の男の子になりたいと思ってしまいます。そんなチムの誕生日にお父さんは「火のくつ」という新しい名前とすてきな冒険旅行をプレゼントしてくれました。悩みを乗り越え、成長していくチムの姿と、お父さんの深い愛情が描かれた物語です。



『しろくまジローはすもうとり』 児913ナ

ななもりさちこ／作・絵 福音館書店

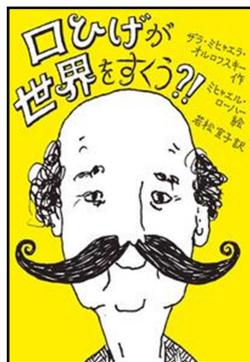
動物園のしろくまジローは、まきずしを頭の上ののせるとあらふしぎ！すもうとりに変身してしまいました。動物園を追い出されたジローは、すもう部屋「のんころやま部屋」に入門し、憧れの横綱との対戦を目指して特訓を始めます。見た目はりっぱなすもうとり、なかみはかわいいジローがだいかつやくする楽しいお話です。



『口ひげが世界をすくう?!』 児943オ

ザラ・ミハエラ・オルロフスキー／作 岩波書店

おばあちゃんが亡くなった悲しみから立ち直るため、おじいちゃんが考えたこと。それは「世界ひげ大会」でひげのチャンピオンになることでした。孫のヨーヨーと一緒に夢に向かって大奮闘。二人のやりとりがユーモアたっぷり。挿絵も楽しいです。



『がんばれヘンリーくん』 児933ク

ベバリイ=クリアリー／作 学研

小学3年生のヘンリーくんはある日、街角でガリガリのやせ犬・アバラーを拾います。バスに乗って連れて帰ろうとしますが、ばれて大騒ぎになった話、ペットショップでグッピーを1つがい買って何百匹にも増えてしまった話、友達の大切なボールを無くしてしまい、弁償するために釣りの餌に使うミミズを1319匹もつかまえた話など、ヘンリーくんのまわりで起きる出来事が楽しく描かれています。



『どう解く？答えのない道德の問題』

児 150 ヤ

やまざきひろし／ぶん ポプラ社

ついていい嘘とついちゃいけない嘘ってどう違うんだろう？食べていい動物と食べちゃいけない動物の違いってなんだろう？

この本にはどうやって解いたらいいかわからない問題がたくさんっています。なやんで、なやんで、答えを見つけてみてね。



『ノウサギのムトゥウ』 児 994 ヲ

ビヴァリー・ナイドゥー／作 岩波書店

小さいながらもかっこいいノウサギのムトゥウは、ちょっぴりいたずら好き。自分よりも大きくて強いゾウやワニなどの動物たちを、知恵を働かせて出し抜きます。ある日ライオン王の怒りを買って、つかまってしまったムトゥウは…？動物たちの楽しい知恵くらべのお話が8つ語られています。



『黒ネコジェニーのおはなし』 児 933 ア

エスター・アベリル／作・絵 福音館書店

ジェニー・リンスキーは赤いマフラーがトレードマークの小さな黒猫。キャット・クラブに入りたけれど、みんなの前に出ていく勇気がありません。だってキャット・クラブに入るには何か特技が必要だからです。でも飼い主のキャプテン・ティンカーがスケート靴をプレゼントしてくれて…。

『黒ネコジェニーのおはなし』は3巻まであります。



『ゆうかんな女の子ラモーナ』 児933ク

ベバリイ=クリアリー／作 学研教育出版

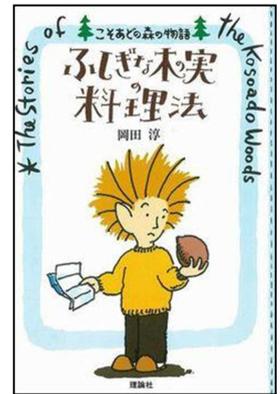
ラモーナは活発で元気な女の子。待ちに待った小学校へ入学したものの、ちょっとしたさわぎを起こしてしまいます。先生に注意されて、みじめな思いばかり。ラモーナの自信はガタガタにくずれてしまいます。失敗をくりかえしながら成長していく姿をあたたかな視線で、ユーモアたっぷりに描いた物語です。



『こそあどの森の物語』 児913才

岡田淳／作 理論社

この森でもなければ その森でもない あの森でもなければ どの森でもない-----「こそあどの森」は、どこにあるかわからないふしぎな森。ウニを乗せた船のような形の家ウニマルや巻き貝の家など、個性豊かな家に住む、個性豊かな住人たちの物語。『こそあどの森の物語』シリーズは12巻まであります。



『魔法使いのチョコレートケーキ』 児933マ

マーガレット・マーヒー／作 福音館書店

あるところに、魔法の腕は悪いが、すばらしいチョコレートケーキを作ることができる魔法使いがいました。魔法使いはパーティーを開いて町中の子ども達にご馳走したいと考えますが、子ども達は悪い魔法使いだと誤解して誰一人来ません。お茶の相手は一本のリンゴの木。それから何年も何年も経ったある日のこと…。



『火よう日のごちそうはひきがえる』

児933 工

ラッセル・E・エリクソン／作 評論社

みみずくにつかまってしまったひきがえるのウォートン。みみずくは、ウォートンを自分の誕生日のごちそうにしようとします。かわいそうなウォートンの運命は…!? やがて、2匹の間には友情がめばえます。ハラハラドキドキ、でもちょっぴりゆかいな冒険物語です。ひきがえるととんだ大冒険シリーズ第一巻。



『ものぐさトミー』

児933 テ

ペーン・デュボア／文・絵 岩波書店

トミー・ナマケンボの家は、全て電気じかけ。朝起きてから夜寝るまで、食事もお風呂に入るのも機械がなんでもやってくれます。ところがある日、嵐がやってきて電気が止まってしまいます。翌日、やっと電気が通ると…。



『ゆかいなホーマーくん』

児933 マ

ロバート・マックロスキー／作 岩波書店

アメリカの田舎町に住むホーマーくんが、次々とおもしろい事件を巻き起こします。ペットのスカンク・アロマと協力して強盗を捕まえたり、ドーナツ製造機がこわれて、店中をドーナツだらけにしてしまったり…。挿絵も一緒に楽しんでください。

